

「日本における大腿骨近位部骨折の適正治療を目指したナショナルデータベース作成」に関する研究

1. 研究対象

2023年4月1日～2033年3月の間に笠岡第一病院 整形外科において大腿骨近位部骨折の治療を受けられた方。

2. 研究目的・方法

この研究の目的は、大腿骨近位部骨折の治療経過に関する大規模データベースを作り上げることです。「骨折」は介護を要する原因となることもあり、高齢化が進行するなか脆弱性骨折（骨が弱くなり軽微な外力で発生する骨折）への対策が求められています。

大腿骨近位部骨折の治療に関する全国規模のデータベースを作り上げ、地域、病院間、さらに国際的な比較を行い、我が国の治療の特色や課題について検討を行うことは、この骨折治療の有効な治療法や二次骨折予防対策を科学的に確立するために大変有用です。私どもは、日本脆弱性骨折ネットワークが作り上げるこの大規模データベースに参加・協力し、より良い治療を探って参ります。

3. 研究に用いる情報の種類

患者基本情報：(匿名化のために新たに作成した) 患者番号、性別、受傷時年齢

受傷前情報：住居（自宅、施設など）、歩行状況

受傷時情報：受傷日時、骨折側、骨折のタイプ、病的骨折有無、認知機能、骨粗鬆症治療

入院時情報：受傷日時、治療法、全身状態分類（ASA-grade）、手術の日時、麻酔、併存症・合併症（褥瘡、肺梗塞、内科治療など）、入院期間、退院先、退院日時、骨粗鬆症治療、予後

入院から30日目、120日目、365日目の情報：予後、歩行状況、再入院の有無、再手術の有無と種類、住居、骨粗鬆症治療

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、ほかの研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書や関連資料を閲覧することができますので御申しつけください。

また情報が本研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承頂けない場合は研究対象としませんので、下記の連絡先までお問い合わせください。その場合でも患者さんに治療上不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

研究責任者：

笠岡第一病院 整形外科 橋詰博行

笠岡市横島 1945 0865-67-0211 info@kasaoka-d-hp.or.jp

5. 利益相反

本研究の資金は日本脆弱性骨折ネットワークの資金を利用します。

この研究に関わる当施設のすべての関係者は、当施設の利益相反行為防止規則に則り、本研究を適性かつ円滑に遂行します。